

2026 年 10 月 28 日

ホリゾン・インターナショナル株式会社

コニカミノルタ株式会社

ホリゾンとコニカミノルタ、印刷・後加工工程の自動化に向けた 業務提携契約を締結

印刷から搬送、後加工までをつなぐ生産ワークフローを
Horizon Smart Factory 2026 で公開

ホリゾン・インターナショナル株式会社（以下、ホリゾン）とコニカミノルタ株式会社（以下、コニカミノルタ）は、デジタル印刷から後加工までの生産工程をよりシームレスにつなぎ、印刷現場の自動化・省力化を推進することを目的として、両社のソリューションを連携した新たな生産ワークフローの構築に取り組む業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

両社は、ホリゾンの製本ワークフローシステム「iCE LiNK」とコニカミノルタの印刷ワークフローソリューション「AccurioPro Flux」を連携し、ジョブ情報や後加工指示、印刷工程の進捗情報を活用することで、印刷から搬送、後加工までをつなぐ一連の生産フローの実現を目指します。

この連携の具体的な取り組みを、2026 年 10 月 28 日から 30 日まで Horizon Innovation Park（滋賀県高島市）で開催する「Horizon Smart Factory 2026」にてご紹介します。

両社のワークフローを連携させた生産フローを実機で公開するのは今回が初めてであり、ご来場のお客様の声も踏まえて、印刷業界における DX、ワークフローの自動化をより一層推進してまいります。

なお、各連携機能の商品化および提供開始時期については、準備が整い次第、両社よりあらためてご案内いたします。

■ コニカミノルタ株式会社 執行役員 プロフェッショナルプリント事業本部長 中嶋清次のコメント

「印刷現場では熟練人材の不足と小ロット化が進み、後加工を含む工程全体の生産性が課題になっています。コニカミノルタは、印刷状況を検知・判断・適応する『The Intelligent Press™』のコンセプトの元、オペレーターの経験やスキルへの依存を抑え、安定した品質と高い生産性を両立させる印刷工程の自律化を進めてまいりました。ホリゾンとの業務提携により、その考え方を印刷から搬送、後加工までの工程全体へと広げ、止まらない生産の実現に貢献してまいります。」

■ ホリゾン・インターナショナル株式会社 代表取締役社長 衣川竜二のコメント

「印刷と後加工の間には、ジョブ情報の受け渡しや次工程の機器選択、セット替えの段取りなど、今なお人が介在する部分が多く残っています。ホリゾンは、全体最適を目指すワークフローシステム『iCE LiNK』を通じて、こうした工程間をシームレスにつなぐ取り組みを進めてきました。コニカミノルタとの業務提携により、印刷から最終仕上げまでをデータでつなぎ、データ分析を通じた生産性向上と、より柔軟な生産環境の実現に貢献してまいります。」

■ 連携の背景

印刷業界では、小ロット・多品種化や短納期化が進む一方、人材不足への対応や生産性向上が大きな課題となっています。

デジタル印刷機や後加工機それぞれの自動化が進む中、さらなる生産性向上には、個々の設備の自動化だけではなく、印刷、搬送、後加工といった工程間をデータでつなぎ、生産全体を最適化することが重要になっています。

■ AccurioPro Flux と iCE LiNK によるワークフロー連携

今回の取り組みでは、コニカミノルタの「AccurioPro Flux」とホリゾンの「iCE LiNK」を連携します。

「AccurioPro Flux」は、コニカミノルタのプロダクションプリント向け印刷ワークフローソフトウェアです。面付けや印刷データの編集・準備、ジョブの管理と進捗の追跡、繰り返し作業の自動化などにより、印刷前工程の効率化と生産性向上を支援します。また、API などによるシステム連携機能を備え、MIS（印刷業向け生産管理システム）や Web to Print などの外部システムと、ジョブ情報を双方向にやり取りできます。

「iCE LiNK」は、印刷・後加工工程のジョブ情報を一元的につなぎ、生産進捗の可視化や後加工機器との連携を行う製本ワークフローシステムです。JDF などの標準的なジョブ情報を活用し、印刷から後加工までの効率的な生産フロー構築を支援します。

このたびの業務提携により、両社のソフトウェアを連携することで、印刷ジョブの管理、面付け、後加工に必要な JDF 情報などを活用し、印刷工程と後加工工程をデジタルで接続します。

さらに、印刷完了などの工程情報を次工程への「合図」として活用することで、印刷物の搬送から後加工への受け渡しまでを含めた、生産工程全体の自動化を検討しています。

これにより、印刷の「後」で後加工の準備を始める従来の工程から、印刷の「前」に後加工の準備を整え、印刷完了後に速やかに次工程へ移行できるワークフローを目指します。

お客様にとっては、工程間の待ち時間や、人手による情報の受け渡し・運搬作業を減らすことで、オペレーターが付加価値の高い作業に集中でき、限られた人員でも安定した生産を続けやすくなることが期待されます。

■ AMR を活用した工程間搬送

両社では、ソフトウェアによるワークフロー連携だけでなく、ホリゾンの AMR（自律走行搬送ロボット）などの自律搬送技術とハンドリフターをコニカミノルタの大容量スタッカー「LS-507」と組み合わせた、印刷物の工程間搬送についても検討を進めています。

印刷機から排出された印刷物を次の後加工工程へ搬送し、生産ジョブの進行状況と連動させることで、人による運搬作業を削減するとともに、設備配置や生産内容の変化にも対応しやすい柔軟な自動化を目指します。

■ Horizon Smart Factory 2026 で連携ワークフローを紹介

Horizon Smart Factory 2026 では、両社の連携による印刷・搬送・後加工ワークフローを紹介します。

コニカミノルタのデジタル印刷機「AccurioPress C14010S」および「AccurioPro Flux」、ホリゾンの「iCE LiNK」および後加工システムを組み合わせ、ジョブ情報を起点として印刷から後加工までがどのようにつながるのかを、実機による生産フローを通じて紹介します。

また、AMR とハンドリフターを活用した工程間搬送を含め、印刷・後加工工程における自動化の具体的な姿を提案します。

■ プリンターインライン ロボタイズ無線綴じシステムを展示

会場では、コニカミノルタのデジタル印刷機「AccurioPress C8100」とホリゾンの無線綴じ機「BQ-300」をロボットアームでつないだ「プリンターインライン ロボタイズ無線綴じシステム」を展示します。

新製品「AccurioPress C8100」は、印刷状況を検知しながら設定を自動で更新する自律印刷機能「The Intelligent Press™」を搭載しています。印刷した用紙からブックブロックを生成し、ロボットアームが無線綴じ機へ自動で投入することで、印刷から製本までを一連の流れでつなぎ、小ロットの冊子生産における段取りや運搬の手間を削減します。

■ 今後の展開

ホリゾンとコニカミノルタは、Horizon Smart Factory 2026 での実演やお客様からのフィードバックを通じて、連携ワークフローのさらなる検証と改善を進めます。

両社の技術とノウハウを活かし、印刷設備、搬送システム、後加工設備をデータでつなぐことで、印刷現場における生産性向上、省力化、作業負荷低減に貢献する、柔軟で拡張性のあるスマートファクトリーの実現を目指します。

■ Horizon Smart Factory 2026 開催概要

開催日： 2026 年 10 月 28 日（水）～30 日（金）

会 場： Horizon Innovation Park（滋賀県高島市）

合同セミナー： 10 月 28 日（水）14:00～「Connected Print Production 印刷から後加工まで、つながる自動化の未来を共に創る」

詳 細： https://www.horizon.co.jp/ja/exhibition/2026/hsf_2026/tour/



Horizon Innovation Park

Horizon Smart Factory 2026 では、印刷・後加工機器だけでなく、MIS／ERP、プリプレス、印刷ワークフロー、搬送、自動化、データ活用などをつなぎ、印刷工場全体の生産ワークフローを紹介します。

本件のお問い合わせ先

ホリゾン・インターナショナル株式会社 TEL：03-3652-7631（代表）

コニカミノルタ株式会社 広報部 西上、蓬田 03-6250-2100